

これで安心！ エアウェイマネジメント実践トレーニング

～日常の臨床で活用できるよう、JSA-AMA ガイドラインを実践します～

日時：11月14日（土）9:00～12:00

会場：フォルテワジマ 4階 ハンズオン会場2

対象受講者：看護師（特定行為研修修了者を含む）、臨床工学技士 など麻酔導入に携わる方

募集人数：16名

申込：事前登録制

受講料：3,000円

プログラム：

9:00 ～ 9:15 オリエンテーション

9:15 ～ 9:45 講義

9:50 ～ 11:30 麻酔導入シミュレーション（4シナリオ）

11:30 ～ 12:00 まとめ・質問

責任者：羽場 政法（ひだか病院 麻酔科）

副責任者：坪井有加里（和歌山県立医科大学看護部）

インストラクター：鈴木智文（JA 三重厚生連三重北医療センターいなべ総合病院 麻酔科）、森英明（島根大学医学部附属病院麻酔科）、渡部達範（新潟大学医歯学総合病院麻酔科）、谷口勇氣（和歌山県立医科大学看護部）

セミナー概要：全身麻酔導入では、上気道開存を維持する能力が大きく低下します。安全な気道管理には、麻酔科医だけでなく、麻酔導入に携わるチーム全体での対応が重要です。チームメンバーには、患者の換気状態を評価し、麻酔科医と状況認識を共有しながら、次に必要な対応を予測して行動する力が求められます。本セミナーでは、日本麻酔科学会の JSA-AMA（気道管理アルゴリズム）を共通言語として使用します。カプノグラムなどの臨床情報から換気状態を評価し、現在の状況がどのゾーンにあるかを判断します。その判断をチームで共有し、必要物品の準備、応援要請、麻酔科医の介助、コミュニケーションへつなげることをシミュレーションで実践します。実技はグリーンゾーン～イエローゾーンを扱い、レッドゾーンは講義で学びます。受講者全員が1シナリオを実践し、他のシナリオも観察・デブリーフィングに参加します。

こんな方におすすめ

- * JSA-AMA を知識として覚えるだけでなく、日常の麻酔導入で活用したい
- * カプノグラムを見て、患者の換気状態を判断できるようになりたい
- * 「今はグリーンゾーンなのか、イエローゾーンなのか」をチームで共有できるようになりたい
- * 麻酔導入時に麻酔科医が何を見て、何を考えているのかを知りたい
- * 気道管理が難しくなり始めたとき、「次に何が必要になるか」を予測して動けるようになりたい

責任者から受講生へのメッセージ

シミュレーションでは、患者に害を与えることなく、さまざまな判断や行動を試すことができます。この講習会では、正解を覚えるだけではなく、実際に患者の状況を見て、考え、判断し、チームで行動します。うまくできなかったことも大切な学びです。実践し、迷い、振り返りながら、「なぜそう判断したのか」「次に何が必要なのか」を一緒に考えます。麻酔科医が見ているもの、考えていることをチームで共有し、「次の一手」を予測できるようになることを目指します。明日からの麻酔導入に活かせる気道管理を、一緒に実践してみませんか。ぜひご参加ください。